

## 平成31年度 徳島県教育会研究主題

### 研究主題

#### 「変化する社会の中で、心豊かにたくましく生き抜く『人財』を育む教育活動」

－魅力あふれる教育環境を創造し、一人一人が輝く教育活動の推進－

### 主題設定の趣旨

今日の社会は、グローバル化に伴い、人・モノ・金・情報や様々な文化・価値観が国境を越えて流動化するなど、急速に変化し先行きが不透明な状況になっている。

国内においても、少子化・高齢化の急激な進展により、本格的な人口減少の局面を迎え、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小など、社会全体の活力の低下が懸念されていると共に、AIによる技術革新にはかつてない程の加速度的な進展が見込まれている。

このような変化が激しく将来の予測が難しい社会を生き抜いていく子供たちには、夢に向かって創造力を身に付け、今後出会うであろう様々な問題を解決していこうとする力が求められる。そのためには、私たち教職員一人一人が、どのような子供を育て、そのためにどのような教育活動を実践すべきかを考える必要に迫られている。

そのような中、平成30年度より新幼稚園教育要領等の全面実施が幼稚園等ではスタートし<sup>\*1</sup>、小・中学校では新学習指導要領への移行が始まった。高等学校でもその改正が告示された。今回の新学習指導要領では、予測困難な将来を生き抜く子供たちに必要な資質能力として、「生きて働く『知識・技能』の習得」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性』の涵養」を挙げている。

本県では、「とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる『人財』の育成」を基本方針とした「徳島教育大綱」を策定し、教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めた。そして、その基本方針を積極的に推進するために、平成30年度からの5年間にわたる本県教育の新たな行動計画として「徳島県教育振興計画（第3期）」を策定し、今後5年間に取り組む「徳島ならではの」施策や、成果指標等が総合的かつ体系的に示された。

私たち教職員は、このような新たな時代に対応した教育の流れを念頭に置き、学校教育の重要性を再認識するとともに、個々の資質・職能の向上に努め、学校力を強化し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を子供たちに育むことのできる教育に取り組まなければならない。そして、子供たちが、夢を抱き、自らの行動により未来を切り拓いていくための「生きる力」を身に付けられる場と機会を創出することが大切である。

子供たち一人一人が、個性・能力を生かし、他者と協働しながら、心豊かにたくましく生き抜くための力を育む教育活動が、すべての学校（園）で行われることを願って本主題を設定した。

---

\*1 保育所においては、厚生労働省告示の保育所保育指針、幼保連携型認定こども園においては、内閣府告示の幼保連携型認定こども園教育・保育要領の全面実施がスタートしている。